九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

談話標識としての「だから」に対応する中国語表現

李, 曦曦
九州大学大学院比較社会文化学府 : 博士後期課程大学院生

松村, 瑞子
九州大学大学院言語文化研究院 : 教授

https://doi.org/10.15017/7151755

出版情報：言語科学. 47, pp.53-60, 2012-03-22. The Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

談話標識としての「だから」に対応する中国語表現

李　曦曦[1]　・　松村　瑞子

1　はじめに

李（2012）「実際の会話場面における中国語の『所以』と『だから』の対照研究」では、接続詞「だから」の中国語訳「所以」が、「だから」の一番基本的な用法――帰結的用法しか表せないことを示した。しかし、日本語の「だから」は談話標識として働き、意味用法を広げており、その用法が中国語でどのように表現されるかについては論じられていない。そこで本研究では、それら談話標識としての「だから」の用法に対応する中国語表現を調査する。

2　データ

今回収集した会話データの発話者は20代から50代までの男女計八組で、それぞれ15分ずつ自由に会話してもらったものである。発話者の具体的なデータは以下の表1の通りである。

表1　発話者のデータ

協力者	性別	年齢	出身地	職業	場所
2MA	男	28	中国遼寧省遼陽市	銀行職員	レストラン
2MB	男	29	中国遼寧省遼陽市	公務員	
2FA	女	29	中国遼寧省遼陽市	学校の先生	2FBの家
2FB	女	29	中国遼寧省遼陽市	学校の先生	
3MA	男	36	中国遼寧省遼陽市	幹事	勤務先
3MB	男	38	中国浙江省	科長	
3FA	女	33	中国遼寧省遼陽市	宣伝部長	勤務先
3FB	女	34	中国遼寧省遼陽市	準看護師長	
4MA	男	49	中国遼寧省遼陽市	科長	勤務先
4MB	男	42	中国遼寧省遼陽市	科員	
4FA	女	49	中国遼寧省遼陽市	科長	勤務先
4FB	女	40	中国遼寧省遼陽市	科員	
5MA	男	57	中国遼寧省遼陽市	副秘書長	勤務先
5MB	男	56	中国遼寧省遼陽市	副主任	

[1] 九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程大学院生。

5FA	女	52	中国遼寧省遼陽市	薬剤師	勤務先
5FB	女	53	中国遼寧省遼陽市	看護師	

3　分析

李（2011）では、接続詞「だから」について、以下のように分類した。

① 帰結的用法

「だから」の一番基本的なものは、帰結用法だと考えられる。つまり、＜原因と結果＞　＜根拠と判断＞　＜発話の理由と発話行為＞といった関係を表すものである。[2]

② 説明的用法

前件Ｐや相手の発話についての説明を加えたり、逆接の説明を繋いだりするのは全部この類のものとする。

③ ＰからＱへの情報の質的変化の形骸化

つまり、単なる話の繰り返しのこと。

④ フィラー的用法[3]

この種類の「だから」はあまり意味持たず、単なる発話をつなぐような機能を果たしている。また、ターンを譲ったり、維持したりするようなものもこの種に分類することにする。

本稿では、②～④の用法がどのような中国語表現に当てはまるのかを詳しく分析していく。

3.1　説明的用法

日本語では、「どうして？」と原因を聞かれたら、「…からだ」と答えるのが普通である。ところが、実際の会話場面においては、「…からだ」と答える前に、「だから」が文頭で使われることもしばしば見られる。この文頭に使われる「だから」は、理由を説明する前に使う「説明の前置き表現」だと考えられる。一方、中国語では、「…からだ」に対応するのは「因为…」である。しかし、実際の会話の中では、この「因为」を省略する無標識な形が一番多く見られる。

例１＜20代男性の会話＞

2MA：然后她就请你吃饭呗？还是你请人家吃饭？

2MB：我请人家吃饭啊！

2MA：你为啥请人家吃饭啊？

2MB：聊挺好嘛。

2MA：那还是有意思呗！

＜訳＞

2MA：で、ご飯おごってもらった？それとも、お前がおごった？

2MB：俺がおごったんよ。

2MA：なんでおごったの？

---

[2] Schiffrin (1987) を参照。

[3] ③と④は、浜田（1997）を参照したものである。

2MB：気が合うからよ。
2MA：やっぱその気があるってことでしょう。

この例文の中で、「なんでおごったの？」と聞かれたら、2MB は何の標識も使わず、「気が合う」と答えた。

ところが、問題は、文頭に使われる説明的用法としての「だから」が、どのような中国語表現に当てはまるのかとのことである。例2を参照されたい。

例2＜20代男性の会話＞
2MA：香港，香港现在两千块钱就下来！
2MB：这么便宜要？
2MA：你得购物啊！香港有啥玩儿地啊？没有意思！就是买东西。你要不购物，白去！旅游，你要是看城市，没有劲了！楼哪儿都有！
2MB：不过真便宜！两千块钱。双飞？
2MA：双飞。
2MB：我去！
2MA：前一阵儿网上不有那个，导游，骂中国游客嘛。
2MB：为啥骂？
2MA：就是，不购物嘛。
2MB：(笑)
2MA：你们交这儿点儿钱，连机票钱都合不上。
＜訳＞
2MA：香港、香港は今、二千元で行けるよ。
2MB：そんな安いの？
2MA：でも買い物しないといけないよ！香港は特に遊ぶところないだろう？面白くないよ。買い物だけでしょう？買い物しなかったら、行く意味がない！旅行って、都会じゃつまんないよ！ビルなんてどこにでもあるからさ。
2MB：それにしても安いね！二千元って。飛行機往復で？
2MA：そう。
2MB：マジで！
2MA：この前、インターネットでさ、ガイドがさ、中国の観光客を非難してたよ。
2MB：なんで？
2MA：だから、買い物しないんだよ。
2MB：(笑)
2MA：「あなたたちが出した、この程度のお金では、飛行機代すら足りない。」って。

この例文の中で、二人は香港への旅行について語っている。2MA は「買い物しないなら、香港

に行く意味がない」と主張している。しかし、2MBはずっと「香港への旅行が安い」という話しか頭に入っていなかったため、「中国の観光客が非難された」理由までは予測できなかったのである。そこで、2MBが「なんで非難したの？」と聞いたため、2MAは「就是」と答えた後「買い物しない」という理由を述べたのである。

ここでまず、「就是」の意味を説明したい。「中国語大辞典」を調べたところ、「就是」には、副詞と接続詞という二種類の形態がある。副詞としての意味は主に二つある。一つは「その通りです」であり、単独で用いて同意を表す。もう一つは肯定を強調する用法である。接続詞としては、「たとえ…であっても」という意味をもち、仮定兼譲歩を表す。

例2で現れた「就是」は非常に口語的な表現であり、辞書では未だその意味用法について説明されていない。上で述べている「就是」の意味の中で、もっとも意味が近いのは副詞としての「肯定を強調する」用法であろう。この用法が、話し手が自分の話を強調したい時に使う「もう一度強調するけど」ということを示す談話標識的用法に広がっていったと考えられる。つまり、口語的な「就是」はこの副詞の「肯定を強調する」用法から発展し、談話標識としての機能をもつに至ったと考えられる。

例2の分析に戻ると、2MAが原因を説明する前にこの「就是」を使ったのは、自分の観点を強く前面に出す機能を果たすことができるためであると考えられる。この機能は、「説明の前置表現」とも捉えることができる。日本語の「だから」にも「説明の前置表現」と同様の用法が見られるため、「だから」と訳すと自然に感じられるのであろう。

次に、前の発話について説明を加える所謂「補足的な説明」の例文を見てみたい。

例3＜20代女性の会話＞

2FB：是×大老师求我这事儿。她这朋友是开公司的。她公司做这个培训。

2FA：啊。在＜地名＞呗？

2FB：对对对。就是，有没有工作的学生，反正你也找不着工作。你就去学半年别的专业呗。完了，你要是学会了…

＜訳＞

2FB：××大学の先生から頼まれて、その先生の友達が会社を経営する人で、その会社はこの「育成訓練」をやってる。

2FA：あー。＜地名＞で？

2FB：そうそうそう。だから、仕事がない学生は、どうせ仕事見つからないから、半年間、他の専攻を勉強してもいいんじゃない。で、もしマスターしたら…

2FAと2FBは二人とも学校の先生である。この例文では、2FBが2FAに学生を探すアルバイトを紹介している会話である。2FBはまず、このアルバイトの基本情報を説明し、それから、「就是」を使い、学生へのメリットも説明している。ここで、「就是」は説明を加える前に使われる談話標識としての機能をもっていることが分かる。

3.2　PからQへの情報の質的変化の形骸化

聞き手が話し手の発話を無視したり、勘違いしたりする時に、話し手が一回発した話をもう一回発する場合がある。日本語の場合は、二回目の話を発する前に、「だから」を使う場面がよく見られる。今回のデータを分析したところ、中国語の場合は以下のような言葉が使われることが分かった。

例4＜20代女性の会話＞（例3の続き）
2FB：得有毕业证呗？
2FA：有。给发证书。
2FB：不是。我说，咱们的学生必须得有毕业证呗？
2FA：对对对。
＜訳＞
2FA：卒業証書がいるよね？
2FB：ある。証書を配布してもらえる。
2FA：いや。だから、うちの学生達は必ず卒業証書が必要だよね？
2FB：そうそうそう。

この例文では、2FBは2FAの「卒業証書がいるよね？」という発話を「(育成訓練）の証書をもらえるよね？」と勘違いし、間違った答えをした。そのため、2FBは同じ発話を発する前に、まず「不是」(「いえ」）を使って相手の発話を否定し、その後「我说」(「私が言いたいのは」）を使って、もう一回話を持ち出したのである。

また、談話標識を何も使わない例文も観察された。

例5＜30代女性の会話＞
3FA：但他们说，初中怎么跟小学课程一点儿不一样啊？
3FB：是。都这么说。
3FA：那怎么还得从头学要？（笑）
3FB：不知道。那就数学和那什么完全分开，变成数学几何了嘛。
3FA：现在数学叫数学几何要？
3FB：不是。现在就叫数学。将来以后不就是代数和几何嘛！就分开了嘛！
＜訳＞
3FA：でも、みんなの話によると、中学校の課程は小学校と全然違うって。
3FB：そう。みんなそう言ってるね。
3FA：じゃ、また最初から学ばないといけないの？（笑）
3FB：分からない。多分、数学とあれが完全に分かれて、数学幾何になるんじゃない。
3FA：今の数学は数学幾何っていうの？
3FB：いや。今は数学だけど。（だから、）中学校になったら、代数と幾何に変わるじゃん！分か

れてしまうじゃん！

この例文の中で、3FB はもともと「代数幾何になるんじゃない。」と言いたかったが、間違って「数学幾何」と言ってしまった。しかし、3FA は 3FB の間違った答えをそのまま受け取ってしまい、「今の数学は数学幾何っていうの？」と聞き返した。そこで、3FB は先ずこの質問に「いいえ」と答え、それから、もう一度自分の発話を正しく修正して繰り返したのである。

この会話例においても、例４の中に現れた「我说」を使うことも可能である。ただ「我说」を使うと、自分の言いたいことを前面に出すことによって、文全体がもっと強く感じられ、分かってくれなかった相手への苛立ちが感じられるようになる。日本語でも同様に、「だから」を使うと聞き手への苛立ちが感じられるのではないかと考えられる。

3.3 フィラー的用法

日本語の「だから」は、接続詞としての特徴は殆どなくし、その意味を僅かばかり留めてはいるが、ほとんど発話の空白を埋めるだけのフィラー的用法を発達させている。中国語で一般的に知られているフィラーには、「这个」（「この」）、「那个」（「その」、「あの」）などが挙げられるが、日本語のフィラー的用法の「だから」と同様の特性を持つ対応表現には「就是」と「就是说」が観察された。これらの表現は、日本語「だから」と同様、説明的用法を持ちながら、フィラー的用法を発達させたものである。

今回のデータを分析したところ、「就是」は数多く使われていることが分かった。その中には、もちろん「説明的用法」としても使われているものもあるが、フィラー的用法として使われているものも数多く見出された。

例６を参照されたい。

例６＜30 代男性の会話＞
3MA：他跑，给他限制点儿，不怎么让他跑。
3MB：啊。就是，那个，就是说，那个，运动功能和那什么正常？＊＊＊＊
3MA：他肯定是受影响。但是，一般都是限制他点儿，不让他跑。
3MB：就是，再过几年，他应该是能恢复到，就是，正常。
＜訳＞
3MA：まあ、少し制限して、あまり走らせない。
3MB：あ。だから、その、だから、その、運動機能とあれは正常レベル？＊＊＊＊
3MA：絶対影響はされるんだけど。でも、大体はこっちから制限するんだよね。
3MB：だから、何年か経ったら、彼は正常レベルに、だから、回復できるはず。

ここで、まず「就是说」の意味を説明したい。「就是说」は連詞（接続詞）であり、「つまり」、「すなわち」という意味である。

この例文では、二人は、怪我をして回復していっている 3MA の息子について話している。3MB

は二つしかない発話の中で「就是」を三回、「就是说」を一回使っている。二つ目の「就是」以外はこのフィラー的用法として機能していると考えられる。注目してほしいのは、3MB の最初の発話の中、「就是」、「就是说」と「那个」(「あの」) が同時に使われていることである。話し手 3MB は考えると同時に発話し、頭の中で自分の言いたい話がまだまとまっていないため、「就是，那个，就是说，那个」というように、意味があるフィラーと意味がないフィラーを交替させて使うことによって、時間を稼いでいるのであろう。「就是」と「就是说」はそれぞれ後ろにあるフィラー「那个」に影響され、フィラー的用法として機能しているとも考えられる。中国語における「就是」と「就是说」も、日本語の「だから」と同様に、基本的な意味用法からの広がっていっていると考えることができる。

4　まとめと考察

ここで、李 (2012) の分析も合わせてまとめてみたい。以下の表２を参照されたい。

表２.「だから」の四つの用法に対応する中国語表現[4]

日本語	四つの用法	対応する中国語表現
「だから」	帰結的用法	「所以」
	説明的用法	「就是」
	ＰからＱへの情報の質的変化の形骸化	「我说」
	フィラー的用法	「就是」、「就是说」

この表で示しているように、中国語の「所以」は原因――結果の結果を表し、この基本的な意味から語用論的にほとんど広がっていない。そのため、談話標識として発達した「だから」の談話的用法に対応するのは、別の中国語であることが観察された。説明的用法においては、「就是」が用いられていた。また、ＰからＱへの情報の質的変化の形骸化の用法においては、同じ発話を繰り返す前に、「我说」(「私が言いたいのは」) という言葉を入れることがあった。最後に、フィラー的用法においては、「就是」と「就是说」が観察された。

ここで、「だから」と「就是说」の意味的な関係を考察してみたい。

永野 (1986：105－108) は「文の連接関係の類型」を分析する際、接続詞を以下の七類に分類している：①展開型、②反対型、③累加型、④同格型、⑤補足型、⑥対比型、⑦転換型。その中で、「だから」が属しているのは①展開型であり、「就是说」(「つまり」、「すなわち」) が属しているのは④同格型である。この二種類を分かりやすく説明すると以下の通りである。

①展開型：前の文の内容を受けて、あとの文でいろいろに展開させる関係。

図式：□ → □　　(『だから』)

[4] この表は今回の中国語のデータに基づいて李 (2012) の分析も合わせてまとめたものである。ここで言及する中国語の対応表現以外に、ほかの対応表現もある可能性がある。

④同格型：前の文の内容とあとの文の内容とが、同じことばを換えていったり、繰り返しであったりする関係。

図式：□ ＝ □　　（『就是说』）　　」

前文と後文にあまり発展がない④同格型に比べ、①展開型は後文に発展性があることが分かる。つまり、「だから」の意味・語用論的用法の広がり方が「就是说」より大きいのは、「だから」の意味論的意味が「就是说」より展開性をもち、意味の発展可能性を内在化したものであるためと考えられる。

ここで、本研究の日本語教育への応用を考えると、日本語を勉強する中国語学習者に、「だから」の原因――結果以外の用法も教えることによって、実際の会話におけるより自然な日本語を習得することが期待できる。更に、中国語の対応表現「就是」や「就是说」と対照させることで、日本語の「だから」の談話機能をよりはっきりと理解することができると考えられる。

5　今後の課題

今回は同じフィラー的用法として働く「就是」と「就是说」の使い分けについての研究がまだ不十分である。また、「就是」と「だから」の意味的関係も明らかにしていない。これらのことを今後の課題としたい。

参考文献：

Schiffrin, Deborah (1987)　*Discourse markers.*　Cambridge University Press.

佐々木裕美「日本語教育における談話研究の重要性：『だから』の多様な機能からの考察」(http://userwww.sfsu.edu/~japanese/conference/ICPLJ6%20Papers/Sasaki.pdf)

大東文化大学中国語大辞典編纂室編（1994）『中国語大辞典』角川書店.

永野賢(1986)『文章論総説――文法論的考察』朝倉書店.

浜田麻里(1997)「話し言葉におけるダカラの分析試論」『大阪大学留学生センター研究論集　多文化社会と留学生交流』創刊号，103-112.

山根智恵(2002)『現代日本語の談話におけるフィラー』くろしお出版.

李曦曦(2010)「自然会話における『だから』の用法について」『東アジア日本語・日本文化研究』第11集，仁川大日本文化研究所，167-190.

李曦曦(2012)「実際の会話場面における中国語の『所以』と『だから』の対照研究」『山崎和夫教授退職記念論文集（仮題）』花書院，（印刷中）